
キシ先生と赤神先生へのインタビュー記事

ポケポケパン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

キシ先生と赤神先生へのインタビュー記事

【Nコード】

N5620I

【作者名】

ポケポケパン

【あらすじ】

今回はキシ先生と赤神零先生へインタビューいたしました。

今回はキシ先生と赤神零先生にインタビューをいたしました。

それでは早速、どうぞ。

・先生はこの「小説家になろう」サイトをどうやって知りましたか？
キシ先生

「このサイトを知ったのは、携帯でバシャーモの画像探していたら行き着きました。」

赤神先生

「適当にインターネットで検索していたら、偶然見つけました。」

・ポケモンのファンフィクションを書くことと思ったきっかけはなんでしたか？

キシ先生

「ファンフィクションを書く切っ掛けは、高校生時代まで戻りますね。当時はスクールバス通学だったので、移動中にルビーを初めたらなんか色々な設定が浮かんできて今に至ります。」

赤神先生

「実は最初、オリジナルの小説を書くこととしていたんです。でも、その前に少し練習程度に何か書こうと思い、自分が良く知っているポケモンについての小説を書き始めました。正直、簡単だと馬鹿にしていたんですが、実際に書いてみると難しく、ポケモン小説の奥深さが身に染みました。また、Karyu先生の『ポケットモンスター 神々の奇跡』を読んで感銘を受けた事も、ポケモン小説を書き始めた大きなきっかけです。」

・先生の年齢と出身地を教えてください。

キシ先生

「年は嘘偽り無く22歳です。出身地は茨城県です。」

赤神先生

「現在17歳。静岡県出身&在住。」

・先生のポケモンのファンフィクションを執筆する以外の趣味を教えてください。

キシ先生

「ポケモン以外の趣味は、模型造ったり、絵を書いたりですね。あと、お菓子を造ったり、コーヒー飲んだり。」

赤神先生

「部活の仲間とカードゲームをすることです。遊 王やデュル・マスターズなど……残念ながら、ポケモンはやっていません。」

・一番好きなポケモンの音楽・BGMを教えてください。

キシ先生

「ポケモンで好きな曲は、『風と一緒に』。ミュウツーの逆襲の主題歌です。あと、HGのホウオウ戦のBGMですね。」

赤神先生

「一番好きな曲は、バトルフロンティアですね。好きなBGMは、金銀のVSワタル・レッド戦です。」

・これからもポケモンの種類は増えていくと思いますか？

キシ先生

「種類は、細々と増えていくと思います。デザインは別として。」

赤神先生

「思います。特にイーブイ系はまだまだ増えるかも……」

・先生は話を執筆する際、紙に書き留めますか？ あるいはPC・携帯に直接書き込みますか？

キシ先生

「そうですね。自分はまず紙の上で話の構成を書いてからパソコンで打ち直しますね。」

赤神先生

「自分はPCに直接書いています。人にはあまり見られたくないの
で。」

・キャラクターを考案する時にヒントを得たもの、あるいはアイデアをもらったことはありますか？

キシ先生

「キャラ紹介でも述べていますが、自分のキャラは大抵が何かしらの作品からヒントを貰っていますね。若しくは音楽から『こんな曲みたいなキャラ面白そうだな』て思って作り始めたりもします。」

赤神先生

「マンガや小説などで良いセリフやシーンを見て、それを元に小説のアイデアを考えつくという事は、しょっちゅうあります。」

・一話を書くのに有する時間はどれくらいですか？

キシ先生

「最近はニコニコ動画を見ながら書いてるので、3〜4時間かかりますね。小説だけに集中すればもっと早くなると思いますが。」

赤神先生

「早くて一週間、遅いと一ヶ月以上。……多分（絶対に）、自分以上に更新の遅い先生はいらっしゃらないでしょうね。本当に毎回すいません。」

・ポケモン小説以外でポケモングッズに関するちよつと誇示できるようなことはありますか？ あるいはポケモンに関して語れるエピソードなどはありますか？

キシ先生

「ポケモングッズで自慢なのは、人形がやたらと多い事ですかね。ポケセン限定からUFOキャッチャーまで、色々集めてます。」

赤神先生

「うーん……あまり無いですね。逆にあまりにも無さ過ぎて、本当にポケモンが好きなのか？というような感じです。」

・ポケモンそのものにはいつ、どういったように出会いましたか？
(例：幼稚園の時にテレビで、小学生の時にゲームボーイなどで)
キシ先生

「ポケモンは初代赤から始めましたね。CM見て『なんじゃこりゃ？』て言った記憶があります。クラスの友達がポケモンを進めてきて、それからハマりましたね。」

赤神先生

「アニメは初代の頃から見ていて、ゲームは銀から始めました。今現在は、アニメは見えていません。」

・同じポケモンファンフィクション作者として意識、あるいは刺激をもらった作者さんたちはいましたか？

キシ先生

「四の五の言わずkaryu先生とプラネット先生、ハビト先生です。更新が楽しみです。」

赤神先生

「どの先生方も、自分と比べる事も出来ない偉大な方達ですが、その中でもkaryu先生が、自分が一番尊敬している方です。」

・執筆中に特に気をつけているものはありますか？

キシ先生

「誤字脱字はあんまり気にしてません。それを含んで自分の作品ですから。注意してるのは、いかに自分の作品のキャラ達の心境を理解させるか、ですね。」

赤神先生

「まず、誤字脱字が無いかが、自分が一番気を付けている事です。あと、読んでいる方が読み易い表現を使うように心掛けています。」

・実際にポケモンの世界に行けるとしたならば、手持ちにしたい最初のポケモンはなんですか？（御三家には限りません）

キシ先生

「即答でアチャモ。進化後も含んで大好きです。」

赤神先生

「ヨーギラス。バンギラスに進化させて、各地で一緒に暴れまわりたいですね。」

・作品を投稿、連載していて嬉しかったことはなんですか？

キシ先生

「やっぱり感想を書いてから頂くと嬉しいですね。あとコラボ企画のお話とか。」

赤神先生

「読んでくださった方達から、感想を頂けることです。『良かった』という一言を貰えるだけで、本当に幸せな気持ちになります。」

・思い入れの深い話とキャラクターを教えてください。（例：一番書くのに苦労した、一番楽しかった、いろいろと試行錯誤をしたが結局断念したプランなど）

キシ先生

「第56話です。コラボ中の話なので書いてて楽しかったですね」
赤神先生

「思い入れの深い話は特にありませんが、キャラクターとしては、リュウマが一番のお気に入りです。自分は主人公よりも、主人公のライバル的存在である脇役の方が好きなので……。しかし、そのために、リュウマ以外のキャラに力を入れなくなってしまうという事

もあるので、注意したいです。」

・好きなポケモンを五つ教えてください。

キシ先生

「バシャーモ、ルカリオ、ガブリアス、エンペルト、ラティオス」

赤神先生

「バンギラス、オーダイル、メタグロス、ガブリアス、ルカリオです。能力よりも見た目重視。」

・先生にとってポケモンとはなんでしょうか？

キシ先生

「ポケモンは家族ですね。何時も隣にいますから。」

赤神先生

「友達？仲間？……ともかく、言葉で言い表す事の出来ない、大切な存在ですね。」

・オーキド博士よろしくポケモン川柳を一ついただけますか？（これは任意で構いません）

キシ先生

「『伝ポケの 個体値粘って 夜が明ける』 字余り」

・読者の皆様には是非一言お願いいたします。

キシ先生

「只今プラネット先生とコラボ中です。自分ではクロノ視点から。プラネット先生は『あの人』視点でお話が書かれています。これからもご愛読よろしく願います。」

赤神先生

「まだまだ拙い部分が多いですが、これからもよろしく願います。」

以上、インタビューとなりました。

キシ先生、赤神先生ご協力ありがとうございました。

それでは失礼いたします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5620i/>

キシ先生と赤神先生へのインタビュー記事

2010年10月22日00時01分発行